

端末機器一覧

1. 端末機器及び台数

No	品目	台数
1	デスクトップパソコン	125
2	ノートパソコン	72
3	23.8 型ディスプレイ	79
4	21.5 型ディスプレイ	59
5	オンライン資格確認用パソコン	3
6	2M カラー高精細モニター	10
7	A4 モノクロプリンタ	47
8	A3 モノクロプリンタ	3
9	A4 カラープリンタ	3
10	A3 カラープリンタ	11
11	ラベルプリンタ	12
12	リストバンドプリンタ	9
13	A4 スキャナ	16
14	A3 スキャナ	2
15	バーコードリーダー	39
16	ICカードリーダー	197
17	カート	3
18	POSレジ	1

2. 機器端末の要件

(1) サーバ

- ① システムの電源投入・自動立ち上げ・自動オペレーション・自動停止など、業務スケジュールに沿った自動運転ができる機能を有すること。
- ② CPU 利用率・DB 利用率・ネットワークトラフィックなどのシステム稼働状況を監視し、事前に設定したしきい値を超えた場合に通知する機能を有すること。
- ③ 電気システムの障害時に対処可能な時間内の電源供給が可能な無停電電源装置があること。
- ④ 電源・ファン・ネットワークカードなどが多重化されていることが望ましい。
- ⑤ ネットワークカードはギガビットイーサネットに対応していること。
- ⑥ 全てのサーバは、当院が診療業務において本システム稼働期間満了まで安定したレスポンスで稼働できるだけのシステム構成・容量であること。
- ⑦ ディスク装置は、ディスク障害による業務の停止を防止する構成であること。

- ⑧ ディスク障害時には、データが直前（1日以内のバックアップ）の状態まで復旧できること。
- ⑨ NAS等を準備し、3-2-1バックアップの原則に則り、バックアップ及びリカバリ時の利便性と迅速性を確保すること。
- ⑩ バックアップにテープ装置は使用しないこと。
- ⑪ 工場出荷後5年間は24時間365日の保守対応が可能であること。
- ⑫ 仮想サーバ技術により、インターフェイスサーバや部門システムサーバ等を可能な限り仮想化すること。なお、その際の費用は全て含めること。
- ⑬ サーバ及びクライアントのオペレーティングシステムは最新版を使うのが望ましいが、汎用性とシステムの安定性を考慮して選択すること。
- ⑭ GUIベースのタスク、システム資源管理の機能を有すること。
- ⑮ オペレーティングシステムの修正プログラムの導入作業は最小の時間で完了できるようにし、業務への支障を最小限にすること。
- ⑯ データベース管理システムは最新版を使うのが望ましいが、汎用性とシステムの安定性を考慮して選択すること。
- ⑰ 簡易ツールを利用してデータベースから検索条件に基づいてデータの抽出及び帳票の出力が可能なこと。
- ⑱ 電子カルテシステムのAI機能は、同時6人で安定的に使用するのに十分なシステム構成であること。

(2) デスクトップパソコン

- ① OSは、Windows11Proとする。
- ② CPUは、インテルCore™i5プロセッサ以上とすること。
- ③ メモリは8GB以上とすること。
- ④ HDDは256GB以上の容量を有するSSDとすること。
- ⑤ USBレーザーマウス（ホイール付）を付属すること。

(3) ノートパソコン

- ① OSは、Windows11Proとする。
- ② CPUは、インテルCore™i5プロセッサ以上とすること。
- ③ メモリは8GB以上とすること。
- ④ HDDは256GB以上の容量を有するSSDとすること。
- ⑤ 無線LAN規格に対応し、無線LAN接続できること。
- ⑥ 16.0型フルHD（1,920×1,080）相当以上のディスプレイを備えていること。
- ⑦ USBレーザーマウス（ホイール付）を付属すること。

(4) 23.8型ディスプレイ

- ① 23.8型以上のカラー液晶ディスプレイであること。

- ② 解像度は Full-HD (1,920×1,080 ドット) 以上であること。
- ③ スピーカーが内蔵されていることが望ましい。

(5) 21.5 型ディスプレイ

- ① 21.5 型以上のカラー液晶ディスプレイであること。
- ② 解像度は Full-HD (1,920×1,080 ドット) 以上であること。
- ③ スピーカーが内蔵されていることが望ましい。

(6) オンライン資格確認用パソコン

- ① OSは、Windows11 IoT Enterprise 2024 LTSC とすること。
- ② CPU は、インテル Core™ i3-8100T 以上とすること。
- ③ メモリは 32GB 以上とすること。
- ④ HDD は 256GB 以上の容量を有する SSD とすること。
- ⑤ 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠とすること。
- ⑥ 15.0 型フル HD (1,920×1,080) 相当以上のモバイルディスプレイを備えていること。
- ⑦ ハードウェア保守を 5 年対応可能であること。

(7) 2M カラー高精細モニター

- ① モニターの推奨解像度は、1,200×1,600 以上であること。
- ② モニターの画面サイズは、21.3 インチ以上であること。
- ③ モニターのコントラスト比は、1,800 : 1 以上であること。
- ④ モニターの同時表示数は、10 億 6,433 万色中 1,677 万色以上であること。
- ⑤ モニターは品質管理ガイドライン JESRA-X-0093 に対応し、出荷試験報告書を標準添付すること。
- ⑥ 階調特性が DICOM Part14 に準拠していること。自己補正機能により、DICOM Part14 に準拠した簡易キャリブレーションが実行でき、表示階調と輝度を補正できること。
- ⑦ 自動調光機能を内蔵していること。
- ⑧ モニターの輝度 180cd/m² の使用において、20,000 時間以上の輝度保証を有すること。
- ⑨ 画像モードに適した輝度や階調に調整した表示モードが、キャリブレーションを行うことなくモニター本体の操作ボタンにて選択できること。
- ⑩ モニター本体に電源回路を内蔵していること。

(8) A4 モノクロプリンタ

- ① A4 レーザープリンタであること。
- ② 両面印刷ができること。
- ③ 印刷速度はモノクロ片面 40 枚/分 (A4) 以上であること。
- ④ ファーストプリントは 7 秒以下 (標準トレイにて A4 印刷時) であること。

- ⑤ 給紙はトレイ：250枚、手差しトレイ：100枚以上とすること。
- ⑥ インターフェイスはイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）を有すること。
- ⑦ 増設トレイを5式つけること。
- ⑧ プリンタ本体は、5年オンサイト保守（定期交換部金含む、月曜から金曜の9時～17時）の保守パックをつけること。

(9) A3モノクロプリンタ

- ① A3レーザープリンタであること。
- ② 両面印刷ができること。
- ③ 印刷速度はモノクロ片面45枚/分（A4）、25枚/分（A3）以上であること。
- ④ ファーストプリントは8秒以下（標準トレイにてA4印刷時）であること。
- ⑤ 給紙はトレイ：270枚、手差しトレイ：100枚以上とすること。
- ⑥ インターフェイスはイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）を有すること。
- ⑦ 増設トレイを4式つけること。（うち本体1台は増設トレイが2段となる）
- ⑧ プリンタ本体は、5年オンサイト保守（定期交換部品含む、月曜から金曜の9時～17時）の保守パックをつけること。

(10) A4カラープリンタ

- ① A4レーザープリンタであること。
- ② カラープリンタであること。
- ③ 両面印刷ができること。
- ④ 印刷速度はモノクロ片面40枚/分（A4）以上であること。
- ⑤ ファーストプリントは7秒以下（標準トレイにてA4印刷時）であること。
- ⑥ 給紙はトレイ：270枚、手差しトレイ：50枚以上とすること。
- ⑦ インターフェイスはイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）を有すること。
- ⑧ プリンタ本体は、5年オンサイト保守（定期交換部品含む、月曜から金曜の9時～17時）の保守パックをつけること。

(11) A3カラープリンタ

- ① A3レーザープリンタであること。
- ② カラープリンタであること。
- ③ 両面印刷ができること。
- ④ 印刷速度はモノクロ片面30枚/分（A4）、15枚/分（A3）以上であること。
- ⑤ ファーストプリントは10秒以下（標準トレイにてA4印刷時）であること。

- ⑥ 給紙はトレイ：300枚、手差しトレイ：100枚以上とすること。
- ⑦ インターフェイスはイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）を有すること。
- ⑧ プリンタ本体は、5年オンサイト保守（定期交換部品含む、月曜から金曜の9時～17時）の保守パックをつけること。

（12）ラベルプリンタ

- ① 印字方式は、熱転写/感熱方式が可能であること。
- ② ヘッド密度は、200dpiクラスのプリンタであること。
- ③ 印字速度は、200mm/秒以上であること。
- ④ 印字幅は、最大100mm以上であること。
- ⑤ 115mm幅の用紙セットできること。
- ⑥ プリンタドライバはWindows10/11に対応していること。
- ⑦ 英数字、記号、カタカナは、5×9ドット、17×17ドット、24×24ドット、48×48ドットの大きさで印字が可能なこと。
- ⑧ JIS第一水準、第二水準の漢字は、16×16ドット、22×22ドット、24×24ドットの大きさで印字可能なこと。
- ⑨ JAN、UPC A/E、EAN、Code39、Code93、Code128、NW-7、ITF、カスタマーバーコード等のバーコード印字機能を有すること。
- ⑩ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TのLANインターフェイスを有すること。
- ⑪ プリンタサーバを使用することなしにLAN接続可能であること。
- ⑫ 寸法は198W×247D×214H（mm）以内であること。
- ⑬ 重量は約4kg未満（接続ケーブル及びACアダプタは除く）であること。
- ⑭ サーマルヘッドチェック機能を有すること。
- ⑮ USB、LANインターフェイスを標準搭載していること。
- ⑯ オートカッター機能を有すること。
- ⑰ 本体は、5年オンサイト保守を含めること。（月曜から金曜の9時～17時）

（13）リストバンドプリンタ

- ① リストバンドが印刷できること。
- ② 印刷方式は熱転写/感熱方式とすること。
- ③ 印刷速度は200mm/秒以上とすること。
- ④ 印字ドット密度は203dpi×203dpi以上とすること。
- ⑤ バーコード規格としてUPC-A、UPC-E、JAN、EAN、Code39、Code93、Code128、ITF、CODABAR（NW-7）、QRに対応していること。
- ⑥ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TのLANインターフェイスを有すること。
- ⑦ 本体は、5年オンサイト保守を含めること。（月曜から金曜の9時～17時）

(14) A4 スキャナ

- ① 自動給紙方式機能があること。
- ② 最大 A4 サイズ、最少 50.8mm×54mmの原稿が読取できること。
- ③ 解像度は 600dpi まで設定可能なこと。
- ④ インターフェイスは USB2.0 に対応していること。
- ⑤ TWAIN 規格に対応していること。

(15) A3 スキャナ

- ① フラットベッドに対応していること。
- ② 最大 A3 サイズの原稿が読取できること。
- ③ 解像度は 600dpi まで設定可能なこと。
- ④ インターフェイスは Hi-Speed USB に対応していること。

(16) バーコードリーダー

- ① 最小分解能は、0.1mm 以上である性能を有すること。
- ② バーコードプリンタで印字したバーコードが読み取れること。
- ③ 読み取りコード
一次元：Code39、Interleaved 2of5 (ITF)、Code93、Code128、UPC-A、EAN128、RSS
- ④ インターフェイスとして、USB に対応すること。バイブレーション機能を有すること。
- ⑤ 本体への電源供給は接続先の PC より行い、追加電源を必要としない機能を有すること。
- ⑥ ハンズフリーに対応していること。
- ⑦ 落下耐性（1.5m 以上/IP42）を有すること。

(17) IC カードリーダー

- ① 国内電波法区分は、型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備であること。
- ② 通信距離（対カード・デバイス）は、約 10mm（機器外装面からの距離）であること。
- ③ 通信速度（対カード・デバイス）は、106kbps、212kbps、424kbps であること。
- ④ 搬送周波数（対カード・デバイス）は、13.56MHz（±50ppm）であること。
- ⑤ 外部インターフェイスは、micro-USB Type B port（full-speed）であること。

(18) カート

- ① 本体の外形寸法は幅 480mm×奥行 580mm とし、高さ 750mm～1,020mm の昇降式であること。
- ② 天板は、幅 480mm×奥行 500mm であること。
- ③ 天板色はアクアブルーであること。
- ④ 天板はメラミン化粧板仕上げであり、アルコール消毒が可能であること。

- ⑤ トレイは 2 段を装備すること。
- ⑥ キャスターは 4 輪とも静音キャスターであり、そのうち 2 輪にはストッパーを有していること。
- ⑦ 両端にサイドネットを取り付けること。

(19) POS レジ

- ① 自動釣銭機を（紙幣・硬貨）とつけること。
- ② POS 画面は 15 インチ以上の液晶カラー表示で、タッチパネル方式での操作が可能なこと。
- ③ 紙幣・硬貨のリサイクル（還流）機能を有し、つり銭補充/機内現金の回収頻度を軽減できること。
- ④ 紙幣硬貨ともに入金、出金時に真偽判定をする機能を有していること。
- ⑤ 紙幣合計 400 枚以上、硬貨各金種 100 枚以上収納できる構造であること。
- ⑥ 入金において紙幣は、全金種（一万円、五千円、二千円、千円）の取り扱いができること。
- ⑦ 入金において硬貨は、全金種（500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円）の取り扱いができること。
- ⑧ 入金において、紙幣・硬貨毎に 20 枚以上の一括混在投入ができる構造であること。
- ⑨ 釣銭として、紙幣は一万円、五千円、千円の取り扱い、硬貨は全金種（500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円）の取り扱いができること。
- ⑩ 一万円、五千円、千円及び硬貨の全金種は還流できる構造であること。
- ⑪ 装置内のお金を全額回収できること。また、指定金種、指定枚数を本体内部に残し、それ以外のお金を回収できる機能を有すること。
- ⑫ 入金時及び出金時は金銭の計数を行い、理論値との整合性が取れること。

3. その他ソフトウェア

- (1) 端末機器一覧に従い、電子カルテパソコンに部門システムを相乗りすること。
- (2) 医療辞書
 - ① すべての端末に ATOK Medical 3 および医学辞書 2025 for ATOK の最新版をインストールすること。
 - ② 医療辞書を一斉配信する機能があり、その設定を行うこと。
 - ③ 電子カルテのログインユーザーごとに辞書が切り替わる機能があること。
- (3) ウイルス対策ソフト
 - ① すべての端末、サーバにウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (4) Office
 - ① Microsoft Office を使用すること。

4. 設置場所

- (1) サーバ
 - ① サーバの設置場所は当院が指定する場所（緩和ケア病棟 1 階のサーバ室）とする。
 - ② サーバ室は設置スペースに限りがあるため、導入業者は、既存ベンダと必要な調整を行うこと。部門システムのサーバに関してもサーバ室への設置を原則とするが、関係部門の部屋への設置が

必要な場合は病院の許可を得たうえで設置すること。

- ③ 必要電源の容量について事前に病院に報告し、サーバ室に新サーバを設置・稼働させる際の電源を確保するように調整すること。（特に本稼働前後の平行稼働時は更に電源容量が必要になるため）

（２） 各端末機器

- ① 端末配置については、指示された箇所に導入業者が設置すること。必要に応じて当院担当者が立ち会うが、設置作業・動作確認作業は導入業者にて行うこと。
- ② 設置の下見を行う場合は当院担当者同行のうえ確認し、当院の準備する電源や机に不備がある場合はなるべく助言すること。